

推進してまいります。

また、持続可能な開発目標「SDGs」の取り組みとして、令和2年度に策定した2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「久米島町ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、主要戦略である海洋深層水の複合利用計画「久米島モデル」実現のための全体計画策定の調査を行い、大規模取水管導入に向けて取り組んでまいります。

さらに、町土地利用の基本方針である「第2次久米島町国土利用計画」が始まります。社会情勢の変化や各計画との整合性等、土地利用の課題や方向性について、町民の皆様の土地利用に対する意見を反映させて、将来にわたり健康で文化的な生活環境の確保、町土の均衡のある発展を図ってまいります。

コロナ禍の状況において、予定していた各種事業、イベント等が軒並み中止又は延期となり、まちづくり推進にも大変な支障を来していることから、官民が一丸となって、この災禍を乗り越え、活力ある久米島町となるよう各施策を推進してまいります。

以上の基本的な方針に基づ

き、令和3年度に実施する施策について、その骨子を申し上げます。

農林水産業の活性化

農業については、農業従事者の高齢化に伴い、さとうきび等で担い手不足の問題等、大変厳しい経営状況にあります。現状の打開に向けて、沖縄県次世代人材投資事業を活用して、担い手育成を積極的に進めてまいります。また、農地中間管理事業により、担い手のための農地集積を進め、栽培技術や経営能力の向上等、関係機関と連携して、課題解決に取り組んでまいります。

(1) 農業の振興

さとうきびの振興については、ハーベスター等の農機具導入を支援し、農作業の機械化を推進します。さらに農家に対して優良苗の普及を図ってまいります。また、さとうきび振興協議会への支援、干ばつ・灌水対策の実施、共済掛金の助成、病害虫の防除等により、さとうきびの振興を図ってまいります。

甘しょについては、農家に對して優良苗の普及と生産拡

大を図ってまいります。さらに、イモゾウムシの早期根絶を目指して薬剤の助成を引き続き行ってまいります。現在、九州の一部と県内で発生している基腐病により、甘しょ生産量が減少しているため、関係機関と連携して対策を行ってまいります。

花卉の振興については、沖縄県花卉園芸農業協同組合と連携し、生産振興を図ってまいります。

新規就農、新規作物については、野菜栽培やコーヒー、バナラ栽培等に挑戦する若者、農家に対して、関係機関と連携して支援を行ってまいります。

(2) 水産業の振興

畜産については、血統矛盾及び新型コロナウイルス感染症拡大により、セリ価格が下落し、大きな影響を受けました。現在、価格は回復傾向にありますが、引き続き、優良雌牛の増頭及び品質向上に取り組みを進めます。また、繁殖雌牛を対象に共済掛金を助成し、JA及び生産者と一体で畜産振興に取り組んでまいります。

令和元年度より、全ての農産物を対象に「収入保険制度」が始まりました。本制度は、品目の枠にとられず、自然災害による収量減少だけでなく、

価格低下等も含めた収入減少を補償する仕組みです。町としても、関係機関と連携し、周知及び加入促進に取り組んでまいります。

漁業については、農業と並ぶ島の基幹産業であり、次の施策により漁業振興に取り組んでまいります。水産業は、「浜の活力再生プラン」が水産庁から承認されました。今後、同プランを活用して久米島漁協を中心に各種事業の導入に取り組んでまいります。また、水産物加工処理施設等において、マグロやモズク、車エビを中心とした水産物の加工品を生産、販売することにより、水産業の振興発展、漁業従事者の経営安定と所得向上を図ってまいります。さらに、観光産業と連携を強化し、相乗効果を創出していくことにより、水産業の活性化を図ってまいります。

商工観光産業の活性化

新型コロナウイルス感染症が長期化する中、それに伴う緊急事態宣言の発出や事業、営業活動の自粛等により町内産

業も甚大な影響を受けており、町内事業者の経営継続や経営回復に繋げるため、ECサイト等のオンライン活用を含めた各種施策の実施、事業者への支援・サポートに取り組んでまいります。

令和3年度においては、地域内消費の喚起、経済循環等、コロナ禍からの回復に向け、関係団体と連携を密にして各種事業を実施してまいります。

(1) 商工業の振興

商工業の振興については、商工振興の担い手である久米島商工会への支援をはじめ、久米島商工会との連携により、町内事業者の経営継続や経営回復に取り組んでまいります。久米島紬の振興については、久米島紬販売促進事業のほか、久米島紬支援事業により本町の伝統工芸である「久米島紬」の保存・継承に取り組んでまいります。

夏の一大イベントである「久米島まつり」については、コロナ禍を念頭に置き、通常のリアル開催のほか、オンライン配信等での開催も検討しながら町の活気が取り戻せるよう取り組んでまいります。